

一般入学者選抜[第I期]のための学力検査の概要
各教科の出題のねらい、結果の概要、応答率

1 国語

(1) 出題のねらい

ア 全般的なねらい

思考力、判断力、想像力を働かせて国語を正確に理解し適切に表現する力をみるために、基礎的・基本的事項を中心として幅広く出題している。

イ 問いごとのねらい

① 文学的な文章によって、漢字を読むことなどの基礎的事項、表現の特徴とその効果に関する理解の程度をみる。また、登場人物の言動の意味や心情を文章の展開に即して理解したり、理解したことを適切に表現したりする力をみる。

② 漢詩とそれについての対話を記した文章等によって、古典における基礎的事項に関する理解の程度や、対話の内容に即して理解したことを整理し、適切にまとめる力をみる。

③ 説明的な文章によって、漢字を書くこと、単語の類別などの基礎的事項、文章全体と部分との関係に関する理解の程度をみる。また、筆者の主張を文章の展開に即して理解したり、理解したことを適切に表現したりする力をみる。

④ 各種メディアの強みと弱みに関する話し合いと、そこで用いられた資料によって、根拠に基づいた論理の展開や、話し合いにおける役割についての理解の程度をみる。また、複数の資料を読み、条件に従ってメモの一部を書くことによって、目的に応じて必要な情報を読み取り、適切に表現する力をみる。

(2) 結果の概要と授業改善の視点等

ア 結果の概要

漢字の読みや書き、単語の類別、古典の知識などの国語の基礎的な力をみる設問は、概ね正答率が高かった。また、文章表現の特徴に関する説明として適当なものを選択する設問、話し合いにおける役割の説明として適当なものを選択する設問でも正答率が高かった。

漢詩の内容に関する対話を元に漢詩の感想文の空欄を補充する記述問題や、文学的な文章において登場人物の発言の意味をそれ以降の会話から考える選択式の設問では正答率が低かった。また、登場人物の心情を読み取り適切にまとめて記述する設問や、文章の展開に即して筆者の主張を理解し適切に表現する設問、話し合いや資料を手掛かりに情報を得る手段としての新聞がもつ強みについて記述する設問では、正答率は低かったが、部分点率は高く、無答率も1割程度と低かった。

(3) 応答率

大問	小問	正答例	配点例 (点)	形式		応答率 (%)							
				選択	短記述	正答としたもの	部分点を 与えたもの	誤答としたもの	無答				
1	①b	さけ(んじまった)	1		○	97.5		0.0		2.0		0.5	
	①d	そまつ	1		○	99.0		0.0		0.5		0.5	
	②	イ	3	○		35.5		0.0		64.5		0.0	
	③	最後の年の試合がミスで終わることへの恐れ	5		○	5.5		58.0		22.5		14.0	
	④	ア	3	○		59.0		0.0		41.0		0.0	
	⑤X	朝月と脊尾には理想のバトンパスができるほどの信頼関係がない	6		○	2.0		42.0		43.0		13.0	
	⑤Y	勝ちたい	2		○	92.0		0.0		6.0		2.0	
2	⑥	エ	3	○		70.0		0.0		30.0		0.0	
	①	七言絶句	2		○	52.0		0.5		31.0		16.5	
	②	万葉集	2		○	75.5		0.5		22.0		2.0	
	③	ア	2	○		47.5		0.0		51.0		1.5	
	④X	色彩を対比させている	3		○	5.5		19.5		58.5		16.5	
3	④Y	悲しいというイメージ	3		○	49.5		12.5		26.5		11.5	
	①c	約束	2		○	92.0		0.5		6.0		1.5	
	①d	拝(んだ)	1		○	80.0		0.0		11.0		9.0	
	②	ウ オ	2	○		48.0		0.0		52.0		0.0	
	③X	恵み	2		○	85.0		1.5		12.5		1.0	
	③Y	自然	2		○	94.0		0.5		5.0		0.5	
	④	エ	3	○		65.0		0.0		35.0		0.0	
4	⑤	水盤に浮かべた桜の花びらを手がかりにして満開の桜を想像させる	6		○	4.0		63.0		25.0		8.0	
	⑥	イ	3	○		59.5		0.0		40.5		0.0	
	①	エ	2	○		64.5		0.0		35.5		0.0	
4	②	ウ	3	○		70.0		0.0		29.5		0.5	
	③	情報を得る時間帯を自分で調整できる。なぜなら、録画しない限り視聴できる時間帯が決められているテレビとは違い、新聞は印刷されているので、自分の手元に存在する限り好きなときに読むことができるからだ。	8		○	21.0		38.5		31.5		9.0	

2 社会

(1) 出題のねらい

ア 全般的なねらい

地理・歴史・公民の各分野にわたって、基礎的・基本的な知識と技能の習得の程度をみるとともに、社会的事象を多面的・多角的に考察する力やその結果を表現する力をみるために幅広く出題している。

イ 問いごとのねらい

- 1 建築物についての調べ学習を通して、古代から近世までの我が国の政治の展開や文化の発展などについて知識の習得の程度をみるとともに、江戸幕府による大名統制について資料をもとに考察する力をみる。
- 2 二種類の世界地図を素材として、地図の特色、気候と生活との関わりなどについて知識と技能の習得の程度をみるとともに、自然環境と発電との関係について複数の資料から適切に情報を読み取る力や読み取った情報をもとに考察し表現する力をみる。
- 3 万博をテーマとする調べ学習で作成した発表原稿や資料を素材として、近現代の我が国の政治の展開や外国との関わりなどについて知識の習得の程度をみるとともに、我が国の経済発展を支えた技術革新について資料をもとに考察し表現する力をみる。
- 4 イチゴについての調べ学習を通して、我が国の自然環境や産業などについて知識や技能の習得の程度をみるとともに、我が国の農業について複数の資料から適切に情報を読み取る力や読み取った情報をもとに考察し表現する力をみる。
- 5 公正な社会をテーマとした学習場面を通して、我が国の地方自治や司法制度、国際機構などについて知識の習得の程度をみるとともに、税制度についてグラフから情報を読み取る力や適切に表現する力をみる。

(2) 結果の概要と授業改善の視点等

ア 結果の概要

基礎的・基本的な知識と技能の習得の程度をみる設問で正答率が高く、特に図や表から正確に情報を読み取る設問で正答率が伸びた。また、資料をもとに記述する設問では、部分点率が高く、問題に取り組もうとする姿勢がうかがえた。

一方で、武家諸法度についての設問や石油危機に関する設問など、資料について知識を基に考察し、かつこ内に当てはまる文章を適切に表現する設問において正答率が低かった。また、社会的な事象の意義、事象間の関連についての理解に課題がみられた。

(3) 応答率

大問	小問	正 答 例	配点例 (点)	形式			応 答 率 (%)							
				選 択	短 答	記 述	正答としたもの	部分点を 与えたもの	誤答としたもの	無 答				
1	①	古墳	2		○		84.5		5.5		8.5		1.5	
	②	イ	2	○			79.0		0.0		21.0		0.0	
	③	エ	2	○			73.0		0.0		27.0		0.0	
	④	新しく城を築くことを禁止する	3			○	44.5		2.0		42.5		11.0	
	⑤(1)	南北朝の統一	2			○	32.5		0.5		56.5		10.5	
	⑤(2)	ウ → ア → イ	2	○			58.0		0.0		42.0		0.0	
2	①	アルプス	2		○		71.5		0.0		27.5		1.0	
	②	イ	2	○			67.0		0.0		33.0		0.0	
	③	ア ウ	3	○			67.5		0.0		32.5		0.0	
	④(1)	ウ	2	○			66.5		0.0		33.5		0.0	
	④(2)	選択理由 ア 火山が多数あり、地熱エネルギーを利用した地熱発電が行われていると考えられるから。	3			○	48.5		17.5		33.5		0.5	
3	①	イ エ	2	○			60.5		0.0		39.5		0.0	
	②	大政奉還	2		○		70.0		4.5		19.5		6.0	
	③	領事裁判権	2		○		68.0		2.0		25.5		4.5	
	④	エ	2	○			57.0		0.0		42.0		1.0	
	⑤	イ → ア → エ → ウ	3	○			23.5		0.0		76.5		0.0	
	⑥	石油危機により生じた不況を、省エネルギー技術を開発する	3			○	14.0		25.0		52.5		8.5	
4	①	ウ	2	○			88.0		0.0		12.0		0.0	
	②	ア	3	○			68.0		0.0		32.0		0.0	
	③(1)	季節風	2		○		88.0		1.0		10.5		0.5	
	③(2)	ウ	2	○			50.0		0.0		50.0		0.0	
	④	市場での取扱量が少なく、平均価格の高い時期に収穫、出荷する	3			○	39.5		27.0		31.0		2.5	
5	①(1)	ア	3	○			44.0		0.0		56.0		0.0	
	①(2)	ア	2	○			53.0		0.0		47.0		0.0	
	②	X イ Y 課税対象の所得金額が高くなるにつれて税率が高くなる累進課税を採用	3			○	37.0		37.0		26.0		0.0	
	③	秘密	2		○		82.0		0.0		16.0		2.0	
	④(1)	イ	3	○			76.5		0.0		23.0		0.0	
	④(2)	憲法に違反していないかを審査	2			○	43.0		5.5		41.5		10.0	
	⑤(1)	エ	2	○			67.5		0.0		32.0		0.5	
	⑤(2)	NGO	2		○		61.0		0.0		38.5		0.5	

3 数 学

(1) 出題のねらい

ア 全般的なねらい

数量、図形などに関する概念や原理・法則についての理解の程度と、思考力や判断力を働かせて事象を数理的に考察したり、思考の過程などを論理的に表現したりする力をみるために、基礎的・基本的事項を中心として各領域から幅広く出題している。

イ 問いごとのねらい

- 1 計算を中心として、各領域における基礎的な内容の知識・理解の程度をみるとともに、基本的な作図技能の程度をみる。
- 2 生徒会でリサイクル活動を行う場面を素材として、数量の関係を不等式で表現する力、連立方程式を具体的な場面で活用して問題を解決する力をみる。
- 3 関数 $y = ax^2$ についての知識・理解の程度、およびグラフと図形を関連付けて考察する力、二次方程式を活用して問題を解決する力をみる。
- 4 文化祭でゲームを企画する場面を素材として、確率を用いて不確定な事象を捉え論理的に説明する力、および事象を数理的に考察し課題を解決する力をみる。
- 5 空間における直線や平面の位置関係、図形の計量についての理解の程度をみるとともに、思考の過程を論理的に表現したり、問題を解決したりする力をみる。

(2) 結果の概要と授業改善の視点等

ア 結果の概要

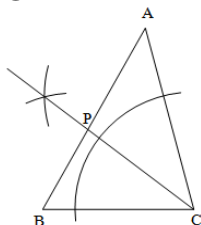
文字式を計算する、連立方程式を解く、関数 $y = ax^2$ において比例定数を求めるなど、各領域における基礎的・基本的な知識・技能の理解や習得の程度をみる設問では、正答率が高かった。

一方で、日常における数量の関係を不等式で表す設問や、図形のさまざまな性質に基づいて論理的に思考する設問、三角形の相似を証明する設問では、正答率が低いものもあった。

(3) 応答率

大問	小問	正答例	配点例 (点)	形式		応答率 (%)						
				選択	短記述	正答としたもの	部分点を 与えたもの	誤答としたもの	無答			
1	①	6	2	○		95.0		0.5		4.5		0.0
	②	-11	2	○		95.0		0.0		5.0		0.0
	③	$5a+3b$	2	○		93.0		0.0		7.0		0.0
	④	$7ab^2$	2	○		94.5		0.0		5.5		0.0
	⑤	$4+2\sqrt{3}$	2	○		86.0		0.0		13.0		1.0
	⑥	$a(x+4)(x-4)$	2	○		72.5		1.0		20.0		6.5
	⑦	$\frac{20}{3}\pi$	2	○		65.5		0.5		28.0		6.0
	⑧	イ ウ	2	○		63.5		0.0		36.0		0.5
	⑨	ア エ	3	○		54.0		0.0		46.0		0.0
	⑩	※作図記述	3		○	39.5		4.0		46.0		10.5
2	①	$20a+7b \geq 500$	2	○		44.5		2.5		52.0		1.0
	②(1)	$x+y=39$ $45x+10y=1160$	4	○		91.5		3.0		3.5		2.0
	②(2)	スチール缶 22 アルミ缶 17	2	○		82.0		2.0		11.0		5.0
3	①(1)	$\frac{1}{2}$	2	○		84.5		0.5		13.5		1.5
	①(2)	-4	2	○		84.0		1.5		11.5		3.0
	①(3)	-1, 5	3	○		19.5		5.5		54.0		21.0
	②(1)	$2t$	2	○		61.0		3.0		25.5		10.5
	②(2)	$(\frac{3}{2}, \frac{3}{4})$	3	○		17.0		0.5		55.5		27.0
4	①(1)	2	2	○		93.5		0.0		6.5		0.0
	①(2)	$\frac{2}{9}$	2	○		56.0		0.5		43.0		0.5
	②	※説明記述	3		○	44.0		35.0		13.0		8.0
	③	$1800 \times \frac{2}{9} = 400$ およそ400(回)	2	○		52.0		0.0		35.5		12.5
	④	ウ	2	○		57.0		0.0		41.0		2.0
5	①	ウ	2	○		68.0		0.0		32.0		0.0
	②	$2\sqrt{2}$	2	○		55.5		0.5		39.0		5.0
	③	$\frac{32\sqrt{7}}{3}$	3	○		47.0		1.0		43.5		8.5
	④(1)(あ)	オ	1	○		45.0		0.0		53.0		2.0
	④(1)(い)	イ	1	○		60.5		0.0		35.0		4.5
	④(1)(う)	カ	1	○		38.0		0.0		53.0		9.0
	④(1)(え)	※証明記述	4		○	9.5		28.5		22.5		39.5
	④(2)	$\frac{92}{9}$	3	○		1.5		0.0		63.0		35.5

1 ⑩ 作図記述



4 ② 説明記述

A の起こる確率は $\frac{15}{36} = \frac{5}{12}$,
 C の起こる確率は $\frac{9}{36} = \frac{1}{4}$ となり,
 A の起こる確率の方が大きいから,
 A の方が起こりやすい。

5 ④(1)(え) 証明記述

$\angle EAB = \angle OAB - \angle OAD$
 $= (90^\circ - \frac{1}{2}\angle x) - (90^\circ - \frac{3}{2}\angle x)$
 $= \angle x$
 よって、 $\angle AOB = \angle EAB$ ……(i)
 また、共通な角だから
 $\angle OBA = \angle ABE$ ……(ii)
 (i), (ii) から
 2組の角がそれぞれ等しいので

4 理 科

(1) 出題のねらい

ア 全般的なねらい

自然の事物・現象に関する基礎的・基本的な概念や原理・法則についての知識・理解の程度と、観察・実験などを通しての科学的な思考力、判断力、表現力等をみるために、第1分野、第2分野にわたって幅広く出題している。

イ 問いごとのねらい

- 1 化学反応や電磁誘導など、各分野の基礎的・基本的内容についての知識・理解の程度をみるとともに、身近な事物・事象について科学的に判断する力をみる。
- 2 はたらく力と速さの関係についての実験を素材として、基本的な法則やグラフのかき方、仕事の計算についての知識・理解の程度をみるとともに、力と運動の関係について科学的に思考する力や判断する力をみる。
- 3 物質の種類を調べる実験を通して、実験方法や電離についての知識・理解の程度をみるとともに、物質の性質について実験結果をもとに科学的に思考する力や判断する力をみる。
- 4 天体の動きに関する観察を素材として、天体の特徴やその動き方についての知識・理解の程度をみるとともに、天体の見え方の時間的・空間的な変化について科学的に思考・判断する力や表現する力をみる。
- 5 植物の観察や実験を通して、植物の体のつくりや顕微鏡の扱い方についての知識・理解の程度をみるとともに、植物の呼吸と光合成による二酸化炭素の増減について、実験結果をもとに科学的に思考・判断する力や表現する力をみる。

(2) 結果の概要と授業改善の視点等

ア 結果の概要

自然の事物・現象に関する基礎的・基本的な知識・理解の程度をみる設問では、一般的に正答率が高かった。

グラフで表現する設問や計算を必要とする設問、科学的な視点で説明する設問では、正答率が低いものもあったが、全体的に無答率は低く、問題に取り組もうという姿勢がみられた。

(3) 応答率

大問	小問	正答例	配点例 (点)	形式			応答率 (%)						
				選択	短答	記述	正答としたもの	部分点を 与えたもの	誤答としたもの	無答			
1	①	(あ)化学 (い)電気	2		○	72.5		7.0		19.5		1.0	
	②	$2\text{H}_2 + \text{O}_2 \rightarrow 2\text{H}_2\text{O}$	2		○	54.5		1.0		40.0		4.5	
	③	イ	2	○		78.0		0.0		22.0		0.0	
	④	相同器官	2		○	94.0		0.0		4.5		1.5	
	⑤	イ	2	○		57.5		0.0		42.0		0.5	
	⑥	20	2		○	77.5		0.0		19.5		3.0	
	⑦(1)	エ	2	○		79.0		0.0		21.0		0.0	
	⑦(2)	ウ	2	○		69.5		0.0		30.5		0.0	
2	①	フック	2		○	81.5		0.0		17.0		1.5	
	②	0.4	2		○	70.5		0.0		28.0		1.5	
	③	F	2	○		65.0		0.0		35.0		0.0	
	④		3		○	26.0		3.5		67.5		3.0	
	⑤	0.18	2		○	13.0		0.0		77.0		10.0	
	⑥	エ	2	○		51.0		0.0		49.0		0.0	
3	①	エ	2	○		74.5		0.0		25.5		0.0	
	②	ア	2	○		87.5		0.0		12.5		0.0	
	③	7.4	2		○	43.0		0.0		48.5		8.5	
	④	ウ	2	○		57.5		0.0		42.5		0.0	
	⑤	電解質	2		○	87.5		0.5		8.5		3.5	
	⑥	イ オ	3	○		18.5		0.5		81.0		0.0	
4	①	恒星	2		○	86.0		1.5		12.5		0.0	
	②P	高く	2		○	50.0		2.0		47.5		0.5	
	②Q	地軸が傾いた状態で	2		○	36.0		7.5		49.5		7.0	
	③	ア	2	○		52.5		0.0		47.5		0.0	
	④	イ	2	○		31.0		0.0		68.0		1.0	
	⑤(1)	イ	2	○		72.5		0.0		27.5		0.0	
	⑤(2)	惑星 エ 理由 地球よりも、太陽に近い位置を公転しているため。	3		○	42.0		20.0		34.5		3.5	
5	①	子房	2		○	78.0		1.0		20.0		1.0	
	②	ウ	2	○		96.0		0.0		4.0		0.0	
	③	ア ウ	2	○		64.0		1.0		35.0		0.0	
	④	対照実験	2		○	86.0		1.0		9.0		4.0	
	⑤	エ	2	○		71.0		0.0		29.0		0.0	
	⑥	試験管 H 理由 呼吸で放出した二酸化炭素の量と、光合成で吸収した二酸化炭素の量がほぼ等しく、BTB溶液の色が変化するほどの二酸化炭素の増減がなかったため。	3		○	19.0		36.0		38.5		6.5	

5 英語

(1) 出題のねらい

ア 全般的なねらい

思考力や判断力を働かせて英語を理解し、適切に表現する力をみるために、基礎的・基本的事項を中心として、英語の言語活動の全領域にわたって幅広く出題している。

イ 問いごとのねらい

- ① 話される英語の内容を正しく聞き取る力、必要な情報を正確に書き取る力、適切に応答する力をみる。また、まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を的確に聞き取る力や聞き取った内容を踏まえて英語で表現する力をみる。
- ② 英語による会話と会話の内容に関する資料から、英語の内容を正確に読み取る力や会話の目的に応じて情報を整理し選択する力をみる。
- ③ 日本語で書かれた内容を、登場人物の思考を参考にしながら、適切に英語で表現する力をみる。
- ④ 英語で話し合う場面を素材として、グラフ資料と話し合いの英文を関連させて英語の内容を正確に理解したうえで、必要な情報を整理してまとめる力や文章の要点を把握する力をみる。
- ⑤ まとまりのある英語の文章から、内容を正確に読み取る力、筆者の心情変化や筆者が伝えたいメッセージを把握する力をみる。

(2) 結果の概要と授業改善の視点等

ア 結果の概要

話される英語の内容を正しく聞き取る力や聞き取った内容を整理する力をみる設問の正答率は高かった。また、英文の内容を正確に読み取る力や、英文と資料を関連させて適切な情報を選択する力をみる設問の正答率も比較的高かった。

まとまりのある英語を聞いて、聞き取った内容を踏まえて英語で表現する力、日本語で書かれた内容を英語で表現する力をみる設問や、抽象的に表現された英文のメッセージを短い日本語で表現する力をみる設問の正答率が低く、相手に伝えたい内容を他者に伝わるように表現することに課題がみられた。

(3) 応答率

大問	小問	正答例	配点例 (点)	形式			応答率 (%)					
				選択	短答	記述	正答としたもの	部分点を 与えたもの	誤答としたもの	無答		
1	A(1)	イ	2	○		93.0		0.0		7.0		0.0
	A(2)	ウ	2	○		49.0		0.0		51.0		0.0
	B(あ)	dictionary	2		○	37.5		0.5		58.0		4.0
	B(い)	train	2		○	61.5		0.0		30.0		8.5
	B(う)	eleven	2		○	72.5		0.5		22.5		4.5
	C(1)	ア	2	○		48.5		0.0		51.0		0.5
	C(2)	ウ	2	○		68.0		0.0		32.0		0.0
	D(1)	エ	2	○		91.5		0.0		8.5		0.0
	D(2)	like soccer. I practice it with my brother	4			○	36.5		33.0		17.5	
2	①	イ	2	○		85.0		0.0		15.0		0.0
	②	Sunday	2		○	63.0		1.0		33.5		2.5
	③	free	3		○	46.5		0.0		43.0		10.5
	④	ア	3	○		29.0		0.0		71.0		0.0
	⑤	ウ	3	○		64.0		0.0		35.5		0.5
3	①	most popular	3		○	65.5		5.5		26.0		3.0
	②	wants us to eat	3		○	17.0		17.0		42.0		24.0
4	①	found	2		○	72.0		0.5		26.5		1.0
	②	エ	2	○		67.5		0.0		32.5		0.0
	③	イ	3	○		69.5		0.0		29.5		1.0
	④	イ	2	○		61.5		0.0		38.5		0.0
	⑤	true	3		○	9.5		0.0		77.5		13.0
	⑥	ウ	3	○		36.0		0.0		62.0		2.0
5	①	toys	2		○	45.5		13.0		39.0		2.5
	②	My job was to ask	2		○	34.0		2.0		63.0		1.0
	③	イ	2	○		42.5		0.0		57.0		0.5
	④	イ	3	○		51.5		0.0		48.0		0.5
	⑤(1)	時間について考える	2		○	30.0		1.0		50.0		19.0
	⑤(2)	持ち主の話を聞く	2		○	19.0		19.5		46.5		15.0
	⑥	ウ エ	3	○		16.0		0.0		80.5		3.5